



長洞元気村ニュース

平成23年7月9日

復興第9号

“結い”

長洞元気村開村式ご案内

7月4日の夕方、市建設課に集会所の鍵を返却しようと訪ねたら、「誠二さんいいところに来た。」と、長洞地区仮設住宅申込者全員当選を通知され各世帯への連絡は誠二さんをお願いしたい旨の話をされたので、快く承諾した。早速、前川会長に報告し文書を作成、区長の貢さんが全世帯に配布しました。待ちに待った入居ですので早く引っ越しをと思うのは私だけではないと思います。入居説明会ではそうした思いで質問しましたが、様々な事情も理解できたので入居予定の延期もしかたないなと思いました。ご尽力いただいた関係者に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、ここに至るまでにお世話・ご支援いただいた関係者が大勢います。地権者や分宿を引き受けていただいた方々、部落会の方々・仮設市街地研究会の方々・マスコミ関係者の方々も立場立場で支援していただきました。開村式はご支援いただいた方々への感謝と復興への誓いの場としたいと考え企画しました。部落会員（地区民全員）はもとより関係者の皆様にも多数ご出席いただきますようご案内いたします。

記

日時 平成23年7月17日（日）午前11時からお母さんと子ども（高校生以下）
正午から青年・お父さん・おじいちゃん・おばあちゃん・
来賓各位

内容 昼食懇親会（正午からはお酒も準備します。車でのお越しはご遠慮ください。）
閉会を15:00ごろと考えています。

元気村・農園 センター花壇

7月7日(木)16:00～元気村女性部による苗の植栽作業が行われました。なでしこ・ヤーコン・バジル・ズッキーニ・朝鮮菊・などなど「産直で売るべし」「収穫祭が楽しみだ」など賑やか雰囲気笑顔の絶えない1時間ほどの作業でした。それもそのはず、その日の午前中に入居説明会が行われ、延期されたものの入居の目処がはっきりと確認できた日だったので。心も晴れやかだったしセンター花壇のなでしこに思いを寄せるには絶好の機会だったかも知れません。

がんばっぺし陸前高田

元気村の看板を設置します。がんばっぺし陸前高田と一緒にやりやすぺあ長洞復興を書き添えました。仮設入居で一区切りですが、これからが又難題山積です。専門家の知恵を借りながら長洞の復興を目指したいと思います。住んでる方にも訪れる方にも元気村からおくるメッセージです。

本設住宅・道路網や漁港の整備などなど、将来を見とおしたビジョンも大事です。また、小さなことでも気になることは誰かに話すことも重要です。問題と目標を共有することで道は開けます。

長洞元気村に寄せて

遠野市災害ボランティアセンター情報班 平井 孝史

4月中旬に仮設研究所メンバーと遠野でお会いしたのが、私達情報班と長洞の繋がりのおかげでした。5月2日に同研究所の森反先生にパソコンと通信カードを託し、村上副会長に渡して頂きました。それ以降、村上副会長の職場や避難先に何度かお邪魔してパソコン設定やブログをお手伝いし、仮設住宅が建設されて行く姿を見てきました。言葉少なく惨状をお話し下さる一方、発災直後からの「元気学校」や「元気村」の取り組みについて熱く語って下さいました。

私達は岩手県内の多くの被災地を見てきましたが、長洞元気村のような早期からの気概に溢れた復興への挑戦はあまり例がありません。

3月11日の大津波は、東北太平洋沿岸を中心に多数の死亡者と甚大な損害を発生させました。日本は、1995年の阪神・淡路大震災や2004年の新潟県中越地震など、およそ10年毎に大災害を経験していますが、東日本大震災は大津波による被害規模とその広汎性において近代では類を見ない大災害です。これまでの経験や知識を遥かに越え、従来の経験的対処法やスケジュールの適用が困難であるという点でも未曾有の大災害であり、東日本大地震・大津波災害と改名しても良い程です。

未曾有であるが故に、国・県・自治体の対応には遅延や齟齬があります。今も多くの方々が支援物資を必要とし、撤去しきれない瓦礫が残る一方で、「収容所」のような集会場もコミュニティーもない仮設住宅群ができつつあります。

長洞元気村は、戦いながら地域とコミュニティーの力で復興を模索し、それに呼応する形で多くの心ある支援者の力が集まり、皆で未来を見据えながら3.11を乗り越えておいでです。

仮設住宅への入居によって段階が一つ進みますが、元の生活に戻るのにはまだまだ時間を要します。いっそ、元より遥かに充実した生活になるよう、これからも先取の気鋭を発揮されるよう期待しています。

遠野市災害ボランティアセンター情報班（文責：平井）

2011/07/09



Takashi Hirai

Traducción e Interpretación
Técnica y Comercial

13-186-98 Miyashiro Tono Iwate, Japón
Telf:0198-62-0203 Fax:050-7527-7770
Móvil: 090-6223-7652

平井 孝史

スペイン語技術通訳・翻訳

〒028-0543 岩手県遠野市松崎町光興寺 13-186-98
電話:0198-62-0203 携帯:090-6223-7652 Fax:050-7527-7770
e-mail:ermita@khaki.plala.or.jp

岩手発・被災地支援情報サイト(掲示板)

被災地の情報をお寄せください。
ニーズと支援をマッチングします。

- ◆内容◆
- ニーズ・声・お役立ち情報を書き込む
- 現地の声・ニーズ
- 被災地の皆さんへお役立ち情報
- ボランティア情報



携帯電話で投稿できます。ご協力をお願いします。
◆遠野市災害ボランティアセンター情報班◆

立ち上がろう!岩手